

日本三霊山シンポジウム

古くから信仰の対象とされてきた霊山。

その霊山の中でも山岳信仰の中心地であった「白山」「富士山」「立山」の三山は日本を代表する日本三霊山とされています。

日本三霊山の歴史的・文化的価値の理解を深め、これまで日本三霊山を知らなかった方々にも魅力を伝えるシンポジウムを開催します。

テーマ「人はなぜ山に魅力を感じるのか」

10.25^土

13:00開場 13:30開会

石川県立音楽堂
邦楽ホール

石川県金沢市昭和町20-1

TEL 076-232-8111

金沢駅・兼六園口(東口)から徒歩1分

参加無料

300名様限定

未就学児は参加不可(入場不可)となります。
ご了承ください。

要申込

申込締切

10月17日(金)

申込締切期限後も、空席がある場合は受け付けますので、下部「二次元バーコード」へアクセスいただくか、「主催・お問い合わせ」までお問い合わせください。

ご参加の方全員に
もれなく
白山の
伝統工芸品を
プレゼント!!

オープニング
(10分)

「和太鼓サスケ」による演奏

2003年に石川県白山市で結成。小学生から高校生で構成され、石川県を拠点に日本全国で演奏活動を行っている。2022年度「第25回日本太鼓ジュニアコンクール」では、石川県大会で最優秀賞、全国大会で特別賞を受賞。

和太鼓サスケ



トークショー
(40分)

「人はなぜ山に登るのか(仮)」

出演

アルピニスト・野口 健氏

1973年アメリカ・ボストン生まれ。高校時代に登山を始め、25歳のときに3度目のエベレスト挑戦で登頂を果たし、当時の世界最年少で七大陸最高峰登頂者となる。2000年からは富士山やエベレストでの清掃活動をはじめ、環境保全や災害支援、戦没者遺骨収集なども精力的に行う。著書や講演活動を通じて、自然や人と向き合う大切さを広く発信し続けている。



野口 健氏

©Ken Noguchi Office

コーディネーター 秋本 和美(フリーアナウンサー)

パネリスト

①アルピニスト 野口 健氏

②北陸大学教授(元立山博物館学芸員) 福江 充氏

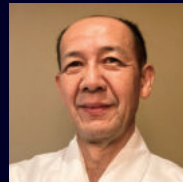
1963年富山県生まれ。金沢大学で博士号(文学)取得。富山県[立山博物館]の学芸員を経て、2015年より北陸大学准教授。現在は同大学国際コミュニケーション学部教授。専門は日本近世史、日本宗教民俗学など。立山信仰についての著書多数。日本山岳修験学会賞、日本学術振興会賞などの受賞歴あり。

③(一財)白山観光協会理事長、白山比咩神社 神職 寺本 義弘氏

1955年島根県生まれ。亜細亜大学を卒業後、國學院大学で神職資格を取得。白山比咩神社に入社。昨年より、権宮司(神職)として奉職。母校亜細亜大学の後輩である野口健氏から、2度のエベレスト登頂失敗の話を聞き、エベレスト登頂成功を祈願し、白山比咩神社のお守りを贈ったところ、野口氏はエベレスト登頂を果たす。野口氏とは帰国後、共に白山登山を行うなど、現在も交流を続けている。



福江 充氏



寺本 義弘氏

パネル討論
(40分)

主催・お問い合わせ

石川県文化観光スポーツ部 文化振興課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 行政庁舎10階

☎076-225-1372 FAX 076-225-1496

E-mail e130700a@pref.ishikawa.lg.jp

申込はコチラから

イベント・コミュニティプラットフォーム「peatix」を使用しています。
初めての「peatix」使用は、アカウント作成が必要です。

※申込無しで、当日の来場でも、イベントへは参加いただけますが、
300名超えの場合は、申込をしていただいた方が優先になります。

